

茨木のり子 2024 春 2.17 のご案内

【趣旨】

2月17日は、現代詩の長女といわれた茨木のり子の命日。数えて19回目。のり子は、自身が戦時中に青春時代を過ごして、その歳月を悔やみ、二度とそうした体験を次の時代の若者に負わせたくない、多くの詩篇を遺しました。その想いは、「詩情遺韻」といえます。それを私たちは受け止めたいと思います。のり子の詩情は、文学としての理解だけでなく、いくつもの課題を抱えている、日本と日本人のところに沁みるものがあります。それを、このイベントでは、厚く表現します。

【次第／スケジュール】

- ・日時 2024年2月17日（土）
開場 17:30～ 開演 18:00～19:30（予定）

- ・場所 中目黒トライ HP <https://www.nakamegurotry.com/>

・出演

- ① 朝日奈拡美 茨木のり子 2024 春のイントロダクション。
- ② 平林朋紀 NPO 再チャレンジ東京のいじめ防止&自殺防止活動について、食と心の健康の面からアピール。
- ③ 佐藤建吉 茨木のり子は、食へこだわった。食の体と健康と文化について。
- ④ 青柳浩生 茨木のり子の魅力と筆力と気力について掘り起こし。
- ⑤ 高谷秀司 茨木のり子の詩「握手」を素材として、高谷秀司による演劇表現&圧倒演奏&パワー伝播。
- ⑥ 榎木孝明 茨木のり子の詩の朗読ほか。
- ⑦ まとめとして、茨木のり子の人と作品を、自分と茨木のり子としてメッセージ。
- ⑧ 2024 夏・秋・冬へのいざない。

桜子による
朗読とピアノ即興演奏

【出演者紹介】

朝日奈拡美 ・ ・ 高谷秀司門下、
古典朗詠家、朗読家。



平林朋紀 ・ ・ 長野県佐久市出身。
公明新聞1面コラム「北斗七星」を15年間執筆。NPO法人再チャレンジ東京、いじめ・自殺防止国民運動本部理事長。日本ペンクラブ会員。



佐藤建吉 ・ ・ 一般社団法人洗楓座代表理事。ソシオエンジニアとして他分野で活動。山形県鶴岡市の出身で、茨木のり子に注力。その演出や企画は青柳浩生を名乗る。また、Norikistと自称。



桜子 ・ ・ 埼玉県出身。東京音楽大学ピアノ科卒業。ピアニスト・作曲家・俳優・舞台企画演出・施術家。埼玉県加須市観光大使。

高谷秀司 ・ ・ 雅楽師・ギターリスト・教育者。音楽ロジック「サウンド・ヴィレッジ」を40年前から開設しロックミュージックを振興。茨木のり子の詩情遺韻を和琴で（ときにはギターで）、静動心魂にて朗詠演出。



再チャレンジ東京の企画室長でもあり、道德教育を実践。大阪府出身。

榎木孝明 ・ ・ 鹿児島県出身。武蔵野美術大学、劇団四季を経て、NHK朝ドラ「ロマンス」で主演デビュー。その後、映画・TV・舞台等で幅広く活躍中。また水彩画家、古武術家でもある。

